

平成 29 年度 第 2 回郡上市住民自治基本条例検証委員会 要録

日 時：平成 29 年 11 月 1 日（水） 19：30～21：15

場 所：郡上市総合文化センター2 階特別会議室

出席者：今井良幸（アドバイザー：中京大学総合政策学部准教授）

中山紀子、山中佐代美、石神隼、西脇将洋、佐藤正彰、小椋和子、日置次郎

三島市長公室長、大野企画課地域振興担当課長、和田係長

欠席者：上村英二、高橋ゆき江

■協議事項

1.郡上市住民自治基本条例の周知について（パンフレットの作成）

2.郡上市住民自治基本条例の推進について

委員① 前回の検証委員会での内容に基づきパンフレットを 2 月までに作成したい。

漫画やイラストを用いわかりやすく表現する形で委託したい。条例の後半部分はこれまでのパンフレットで対応。

事務局① 地元のデザイナーに依頼したい。今井先生のご指導のとおり、条例の前半部分を手厚く紹介し、後半部分は職員の業務内容なので既存のパンフレットを活かしたい。最終面には条例の構成フローを掲載する。個人の関わりから社会組織の活動までをイメージできるイラストを掲載したい。配布先は全世帯とし、中学 3 年生の授業教材を複数年賄える数を印刷すると 1 万 7 千部になる。今回の資料はいつでもだれでも触れることができるものとするため、授業教材やホームページにも掲載することを前提とし、多様な媒体にも対応できるようにする。予算的には 50 万円程度になる。

委員① 市内の社会科担当の教諭に相談したところ、11 月に社会科の教科研修があり、資料を預ければ協議するとのことなので依頼をする。社会科の先生でもあまり浸透はしていないので、冊子だけではない他の方法を検討する必要がある。中学校では、来年の 3 年生の 11 月くらいに扱われると思われる。

事務局① 条例の前文には非常に大事なことが描かれているので、前面に出したい。

編集方法については、経過を各委員に郵送させていただき、確認を行いたい。

委員② 郡上良良ちゃんやゆかりのある人に案内させると面白い。

委員③ パンフレットの案は良いが推進方法が課題。住民にも温度差があり、捉え方が違う。各種団体への周知も必要。

委員② SNS や QR コードにも対応させると広がりが出る。ただし、常に更新が必要。

委員① 郡上プラスにも QR コードで動画を観ることができる。

委員③ タイトルは「市民が主人公のまちづくり」を「住民自治基本条例」より大きく。

委員① 今回のパンフレットは何を伝えたいのかが重要。

委員④ これまでのパンフレットに導くための内容にするとよい。

委員⑤ SNS を使う場合、クオリティを上げ、ロコミになりそうな動画でなければ広がらない。

委員⑥ 地域の人が出れば、基本条例を知らなくても条例を知る機会になる。

委員② 地域に根ざしていないかでは違和感が出る。

委員③ ケーブルテレビで白山や東氏の説明をされたときには関心が集まった。観る方は観ている。

委員⑥ 第 7 条の市民の役割と責務で、自らまちづくりに参画する、関心と責任を持って地域活

動に積極的に参加するというのをイラストで分かりやすく説明できるとよい。

委員⑦ G J 8 マンの使用はできないか。

委員① キャラクターが八幡に限定されてしまう。

委員② まちづくりの動画コンテストも興味深いが、ウケ狙いに行くと意味がない。

委員① 協働センターに事業提案できないか。

委員⑦ 協働センターは住民自治基本条例に基づいて活動する組織であり、できるのでは。

事務局② 検証委員会の提案として、まちづくりをPRする動画コンテストを上げることはできる。
次年度に向けた相談にしたい。

委員② 了解を得て good 郡上プロジェクトの様子を動画で配信できると面白い。何をしても関心が薄い状況なので、コンテンツを多様化すれば関心は広がる可能性がある。ただし、これ以上労力は裂けないので、既存のコンテンツをつなげる工夫が必要。

委員⑤ HP で多様なコンテンツを閲覧できるようにすれば労力を増やさず発信ができる。

事務局② 現状では QR コードにはクオリティの高い動画ではなく、条例の詳細が閲覧できるようにすればよいのでは。様子を見ながら対応していきたい。

委員① 県の女性防火クラブの要望は動画で行った。

委員⑦ わかりやすく評判がよかった。

委員⑤ 地域活動団体は活動資金をあまり持っていないので、活動コンテストを開催して、賞金を出してほしい。

事務局① 魅力ある地域づくり補助金があり、補助対象経費の 1/2 補助で 20 万上限、3 年継続できるメニューがある。

事務局② 地域課題解決部門の補助金は、10/10 で 20 万円の上限で用意している。

事務局① 都市住宅課にも景観百景の補助金があり、1/2 補助で 20 万上限、3 年継続できるメニューがある。また、地域活動交付金を交付しているので、各地域協議会とも連携が必要。

委員① QR コードに掲載できるといい。来年度の課題として

委員② アピールしたい人たちを紹介する場も必要。

委員⑦ HP の運用など協働センターとの連携が必要。メディアコスモスの取り組みは参考になる。

委員⑥ HP の運用については協働センターの方が扱いやすいと思われる。

委員① 31 年度に事業化するための 30 年度の協議事項とする。

今回出た話題を考慮し、デザイナーに依頼。進行状況は随時委員に連絡して進める。

2 月の納品を目指す。

21 時 15 分終了